

## 理事長賞

### 水きさららについて

徳永 こと菜

みやま市立 水上小学校

わたしは、社会「水はどこから」の学習でわたしたちがふだん使っている水道の水がどこからきているかについて学習しました。わたしたちが使っている水は、山から流れてくる水を浄水場できれいな飲み水にし、それぞれの家や学校に送られるということがわかりました。そこで、わたしは一つ疑問ができました。それは「使われた水はどうなるのか。」ということでした。

そこで、わたしは学校で筑後市にある「水きさらら」というしせつのオンライン見学に参加する機会があったので参加しました。

オンラインしせつ見学では、水きさららのしせつについてわかりやすく説明してくださいました。

わたしはこのオンラインしせつ見学に参加して水きさららはよごれた水をきれいにし、川や海に流すしせつということがわかりました。

今から水きさららの下水しよ理の仕組みや水きさららの役割についてしようかします。

水きさららは筑後市、八女市、みやま市、広川町の下水が集められます。その量は一日に一万二千立方メートルにもなるそうです。この水きさららに流れてきた下水は、最初ちんでん池から反応タンク、最終ちんでん池、消どく設びを通り、水しつ検査室できれいな水になったか検査してから川へ流されます。この中でも反応タンクにある活性おでいはよごれを食べて水をきれいにしてくれる役割があるそうです。この活性おでいのおかげで薬を使わずに水をきれいにすることが

できるそうです。

わたしはこの水きさららのオンラインしせつ見学で二つの大切なことがわかりました。

まず一つ目は食べのこしをしないことです。もしごみや食べのこしを下水道に流すと下水管が詰まってしまいます。下水管が詰まるとマンホールなどから下水があふれて町をよごします。だから下水管が詰まらないように食べのこしをしないようにしたいと思います。

二つ目は油を下水管に流さないということです。反応タンクにいる活性おでいは油が大の苦手です。下水管を通って油がたくさん流れてくると活性おでいは死んでしまつて水をきれいにすることができなくなるかもしれません。だから油を使つても流さないように気をつけたいと思いました。

水きさららはよごれた水をきれいにし、川や海など自然を守るためのしせつであることがわかりました。水がきれいになるとわたしたちの町も臭くならず、清けつで安心したくらしを送ることができそうです。

水は限られた資源であることを社会の授業で学習しました。だからみなさんも水の環境を守るために、台所から油を流したり、トイレで水にとけないティッシュを流したりしないように気をつけてほしいと思います。

水きさららでは水をきれいにするのに二十七時間かかるそうです。しかし、みんなが水を大切にすればこれからも水の環境やわたしたちの美しい町も守っていくことができると思います。

わたしはこれから、水を出しっぱなしにしないように友達や家族に声をかけたり、家の台所に油を流したりしないことを取り組んでいきたいと思っています。